

# ミルク使用部分のお手入れ方法についての補足

この度はESAM5500MHをお求め頂き誠にありがとうございます。  
 ブラシの使用したお手入れ方法とともに補足のご説明をいたします。

## 推奨ブラシ(注ぎ洗いブラシ)



ブラシは使用前に水で湿らせてから使用ください。

## ミルク使用時に必ず行ってください



CLEANボタン

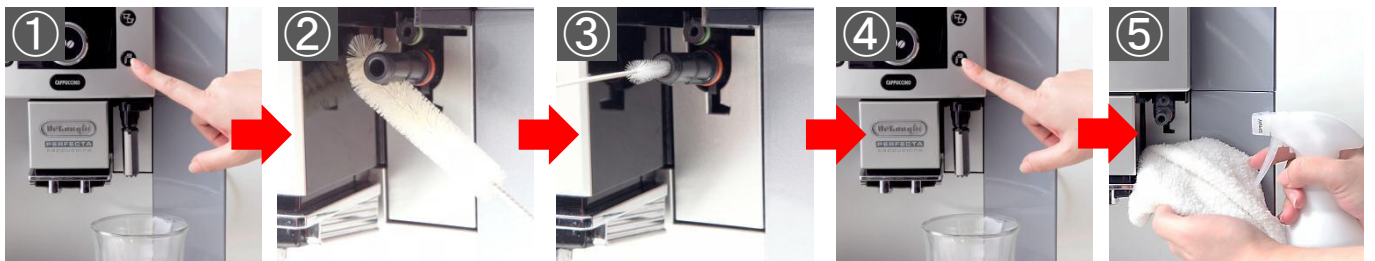
ミルクメニューの抽出前と抽出後には、必ず簡易洗浄を行ってください。

CLEANボタンを押します。  
 ディスプレイ表示される「カンイセンジョウチュウ」のインジケーターが終了するまで、押したままにします。

### 簡易洗浄機能の効果

ミルクの温度・フォームの安定、汚れによるトラブル回避、衛生面の維持

## 営業後のお手入れ(本体側)



- ① 給湯ノズルを取付け、給湯を行う。
- ② ミルクコンテナ⇄本体の接続部の突起部分にこびり付いた汚れを、ブラシ(大)で取り除く。
- ③ 同様に突起部分の空洞内部の汚れを、ブラシ(小)で取り除く。  
(汚れを押し込まないよう、ブラシを回転させる)
- ④ 再度給湯ノズルを取付け、給湯を行う。
- ⑤ 突起部分にアルコールスプレーを噴射し、自然乾燥させる。

## リングの目視確認



接続部のリング(緑・黒・赤の3つ)状態をチェックし、ヒビや傷などで消耗している場合は交換してください



← ミルクフォームの安定維持

続けて裏面もお読みください。

## 営業後のお手入れ(ミルクコンテナ)

ミルクコンテナ式は  
ミルクノズル、フロス  
調整つまみも取り外し、  
分解します。ぬるま湯  
(※)に食器用洗剤を  
数滴垂らし、浸けおき  
しておきます。

※熱湯は使用しないでください



ブラシの大・小を使って、  
コンテナふたの穴の空  
いている部分を清掃し  
ます。穴の大きさに応  
じてブラシを使い分け  
て使用してください。



ミルクノズルも同様に、  
ブラシを使用して清掃  
します。

